



橋本 健一郎氏  
(橋本アルミ取締役)

非鉄原料問屋の橋本アルミ(本社・大阪市)の橋本健一郎取締役は、「東海道新幹線の車内ワゴン販売が今年10月末で終了する。JR東海によれば静かな車内環境を求める意見があったことや、将来的

## 「AIで対応できない日々の業務」

な労働力不足への対応などがある理由だ」と話を切り出した。

東京出張で新幹線に乗り込む際は、コーヒーマチをもち込むのだという。「三河安城辺りでワゴンが通れば、ホットコーヒーマチをもう一杯。『シンカセンソゴイカタイアイス』(通称)も時折……。こういう楽しみが無くなるわけで、なんとも寂しい限り」。

アフターコロナはひとまず収束。猛暑のせいも、マスク姿も消えつつある。観光地の状況なども盛況で、かなり通常モードになってきた。

「昨今の人手不足は深刻。先のワゴン販売終了も、人手不足を見越した対応でもある。我々の非鉄金属原料の業

界も人手不足だが、ありがたいことに当業界の仕事は、AIだけでは対応できない。値段のみで売り買いするのであれば苦労はないが、実際には得意先のお付き合いや各種の情報などが日々の業務に複雑に絡む」と話す。

非鉄原料業界の状況については、銅・アルミ市況価格は円安も影響し値段は上がったという。

(白木 毅俊)